



Patho
PATHO BIO CELL SLICER
凍結組織を連続・自在に薄片化できる装置

▶ 切片作製方法 前処理の特徴

無固定
Non-Fixed

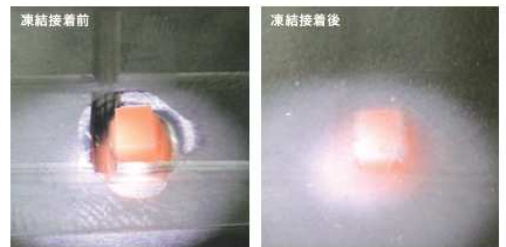
アルコール・
有機溶媒での
固定は不要!



化学処理をしないから、生体内に
あった組織細胞の状態を保持!

凍結接着
Frozen
Bonding

専用の接着剤は
扱いやすく
作業効率も高い!



凍結前は無色透明、凍結すると白色になり接着が完了、試料が
ガラスプレートに短時間で接着できます。

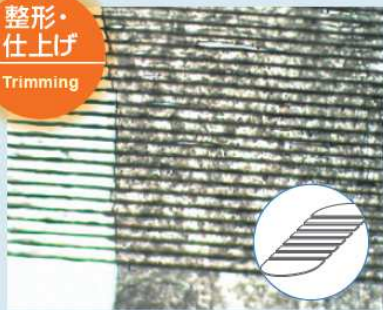
▶ 凍結切断で実現可能な切片形状

連続切断
Continuous
Cutting



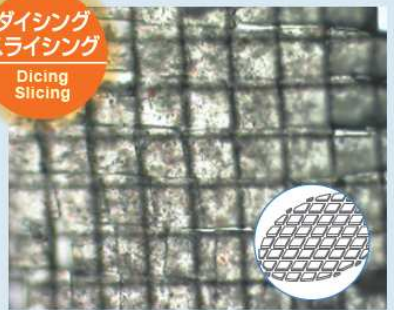
組織片を一定間隔 (例えば、20μm) で
連続的にスライス可能

**整形・
仕上げ**
Trimming



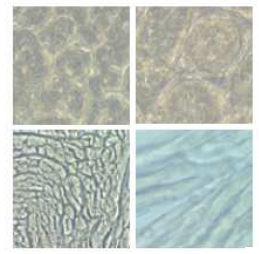
組織片の不要部分の切除やスライスが可能

**ダイシング
スライシング**
Dicing
Slicing



垂直・水平方向に連続的に切断することで、
組織片をダイス状に切断

New technology



◎ 応用分野

- **シングルセル病理診断**
組織切片ダイシングというイノベーションが新しい価値を創造。
- **大量組織切片作製 for HTS**
HTSに供給可能な大量組織切片の作製が可能に。
- **iPS細胞由来組織の評価や検査**
組織を任意の位置で切断可能
(断面観察による細胞シート製品の検査、移植片の生着評価)
※その他、組織細胞工学にて応用

◎ 山梨大学との共同開発

『生きた臓器組織細胞の解析』

凍結採取した臓器組織試料をバイオセル
スライサーの自動制御による組織表面の
20μmを除去し、多光子顕微鏡等でデジ
タル画像データ取得を反復させ、機能分
子形態学的に解析。
バイオセルスライサーと多光子顕微鏡等
の自動制御化システムの構築を目指す。



山梨大学 大学院
医学工学総合研究部
大野 伸一 教授

受託ご相談
ください



あらゆる切断に関する問題解決方法を提案しております!

ワイエイシイダステックは**切断機メーカーの最後の砦**です。テストカットもご相談ください。